

平成26年第15回

仙北市教育委員会定例会会議録

平成26年11月27日

仙北市教育委員会

平成26年第15回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成26年11月27日(木) 午後2時

2 場 所 角館庁舎 西側庁舎2階 第4会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	佐久間健一
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	羽川 茂幸
教育次長兼教育指導課長	田口桂一郎
教育次長兼教育総務課長	畠山 靖
生涯学習課長	成田 祐子
スポーツ振興課長	田口 幸栄
文化財課長	小松 誠一
国民文化祭推進室長	草薨 悟
教育指導課参事	齋藤 栄子
教育指導課参事兼北浦教育文化研究所長	浦山英一郎
教育指導課参事兼田沢湖学校給食センター所長	稲田 正之
教育指導課参事兼角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
生涯学習課参事兼西木公民館長	武藤真利子
生涯学習課参事兼角館公民館長	草薨 正勝
生涯学習課参事兼田沢湖公民館長	佐々木幸美
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	鈴木 孝昭
生涯学習課参事兼市民会館・田沢湖図書館長	藤原 眞栄
文化財課参事	中村 和彦
文化財課参事兼角館町平福記念美術館長	長松谷 光

5 議事

(1) 議案審議

議案第31号 仙北市文化財指定について

(2) 報告事項

報告第41号 仙北市教育行政報告について

報告第42号 三浦雄一郎・猪谷千春講演会補助金交付要綱制定について

報告第43号 「全国学力・学習状況調査」結果取扱要綱の一部を改正する要綱制定について

(3) 仙北市教育委員会委員長選挙について

(4) 仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について

## 6 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただ今から平成26年第15回仙北市教育委員会11月定例会を開催いたします。

それでは、次第により会議を進めさせていただきます。書記には高倉参事、栗原主査を任命いたします。議事録署名は、河原田委員、熊谷教育長にお願いいたします。前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

次に次第4、委員長挨拶ということになっておりますので、私から挨拶をさせていただきます。11月14日、仙北市教育研究大会があり、私と坂本委員が出席いたしました。私の印象的な部分のお話をして報告といたします。二つの小中学校とも少人数というハンディーを乗り越えて非常に子ども達一人ひとりの思いを伝えあう、工夫された学習がなされていました。子どもと教師のかかわり合いが、かくあるべきだという原点でありますか、原風景を見せていただいたということで非常に感動し、感動的な時間でありました。こういう活動を支えているのは、子どもと教師の気持ちの繋がり合い、先生の愛情、使命感ではないかなと思います。常日頃、私は、教師の存在そのものが教育環境であるということをお話しさせていただいてきました。そのことを如実に示す良い例ではなかったかと思います。どの先生が桧木内小・中学校に行ってもそのようにできるということは、仙北市の教師の力量が、ある一定以上の力を持っているということを示しているのではないかと思います。次に17日、大仙仙北美郷教育委員会連絡会に行き参りました。今年は、文化施設の利活用について、お互いの教育委員会の実情の話し合いをしていただきまして、どこの教育委員会もお金がない、予算がない、人手がないという悩みを抱えていることは共通してありました。その中で私が思ったのは、大仙市の南外と大川西根の文化施設を活用するに当たって、地域の組織を活用して、これまでにない活動ができているというお話がありましたので、今後、仙北市でもそういう面で参考にできるのではないかなと感じました。同日に、文化財課で史跡をめぐる研修が初めて行われました。そういう面では、文化財課、教育委員会としては、これまでにない画期的な事業であったと思います。私も教育長にお願いしたり、課長にお願いしたりして、予算の無いところで市民の文化財課に対する見方を変える一つの契機になるのではとお願いをしてきました。たくさんの参加者がいて、大変盛況であったということをお聞きいただきまして、非常に良かったと思われました。私の方からは以上です。

次に5の教育長の事務報告についてお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、11月の教育委員会事務報告をさせていただきます。

11月1日、国際教養大学開学10周年記念式典に行きまして。3日、国民文化祭・あきた2014閉会式であります。閉会式並びにフィナーレイベントとして、角館曳き山の激突がございまして、大変盛り上がりまして。7日、第9回仙北市芸術文化振興会がクリオンでございました。14日、市教育研究大会、今、委員長からお話がありましたが大変良かったなと思っております。17日、これもお話がありましたが大仙仙北美郷教育委員会連絡会で大変有意義な話し合い、懇談ができたと思っております。19日、総務文教常任委員会協議会でした。昨日でございますが、秋大との締結式並びに講演会で教育委員の皆様にも出席いただきありがとうございます。27日、今日が定例会でございます。今後でございますが、28日から定例会で12月19日まで行われます。8日、一般質問で9日までです。11日、各常任委員会、分科会で12日までです。19日、市議会最終日でございます。25日、国民文化祭実行委員会ということで、盛大に懇親会も含めまして152人のご案内、参加予定でございます。25日、12月定例会でございます。12月15日、大曲工業高校校舎改築落成式です。以上であります。

(熊谷教育長が、上記内容等について、資料に基づき報告する。)

(安部委員長)

教育長の事務報告が終わりました。ご質問はございませんか。

(佐久間委員)

11月17日に私達もご案内をいただきましたが、委員会とぶつかって行かれなかったのですが「門屋城」と「古堀田城」の史跡めぐりが行われたということですが、要点のみご報告ください。

(小松文化財課長)

今回は、西木の方で開催ということで、仙北市全体として、いずれどこかに視点を置いて取り組みをしたいという考えを安部委員長からも話がありましたが、その辺を踏まえて、今回は西木の「門屋城」と「古堀田城」という形で市民を対象にということでありました。バスが28人乗りということで、乗り合いが悪い状況でした。本来は、北浦史談会の方からも参加したいということもありましたが、それを押さえたような形で出席いただきました。午前中に現地の方を周りまして。史跡めぐりとは、なかなか地元においてもできるような状態もないので、非常に参加の皆さんには喜ばれました。講師の方は、弘道書院復元のためにご協力いただいている、元秋田県文化財保護室長の大野憲司氏で、非常に有意義な交流となりました。戻ってから、伝承館の方でスライドを使いながら、城を攻める時の今の状況がわかるような、スライドをみていただきながら、その時の雰囲気を感じることができ、おもしろかったと思っています。来年は、是非田沢湖さんをお願いをしたいという話をして終わりました。

(安部委員長)

11月7日、第9回仙北市芸術文化振興会とはどのような組織ですか。

(熊谷教育長)

これは、通称芸文協と言っています。今は、元野さんが会長になっております。短歌、俳句、踊り、お茶、お花等芸文協全部の文化で頑張っている方々の会です。

(安部委員長)

簡単に言えば、芸文協の方々ですね。今回の国文祭でも頑張ってくれた方々ですね。後もう一つは、11月19日、総務文教常任委員会協議会では、教育委員会に関する困った問題とか報告すべきことはなかったでしょうか。

(羽川部長)

教育委員会関係は、特にありませんでした。12月定例会に向けた補正予算の内容、国文祭の結果報告というようなことを報告しております。総務の方からは、クニマス未来館のその後の状況、今後の予定というような報告がありました。総務についても12月定例会の議案とか補正予算の説明でした。

(安部委員長)

ほかにご質問はありませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

では、教育長の事務報告を承認することにいたします。

それでは、次第6の議事の議案審議に入ります。

議案第31号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(小松文化財課長)

議案第31号仙北市文化財指定について説明します。

昨年11月15日、金峰神社の仁王門について市の有形文化財指定申請書が、所有者であります、田沢湖梅沢字東田25番の金峰神社、代表役員の宮司成田平彦さんから提出されております。その際は、審議委員の皆さんと現地を視察されております。それを受けまして、平成26年度の予算の調査費用を計上しております。物件の調査につきましては、今年7月5、6日に金峰神社の調査を実施しております。調査をしていただいた方ですが、秋田公立美術大学の澤田享教授でございます。今回審議委員の委員になられた方です。それと同じく公立美術大学の矢田目真希子さんの2人で調査をしていただきました。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問ございませんか。

私から、ここに書かれている調査報告書とは誰が書いているのですか。

(小松文化財課長)

今、調査報告書原本を回しますが先ほどお話ししました、澤田享先生に作っていただきました。お手もとの資料にはございませんが、今、回覧していただきたいと思っております。カラーの写真で見えていただいた方が非常に状況がわかりやすいと思っております。江戸時代の形を残しつつ非常に貴重な市の文化財になるのではないかと思います。

(安部委員長)

もう一つ、初歩的な質問で申し訳ありません。これが指定されると今後、この管理者は誰で、教育委員会としての財政的な補助が必要になってくるのかということを質問します。

(小松文化財課長)

今の所有につきましては、あくまでも宮司の成田さんが所有者の代表になります。それは

市に移されるということではないです。今の状態は、雨が漏っているとかあまり良い状態ではないです。悪い所を直したいという部分についても申請が上がってくると思います。こちらの補助要綱を使って、申請の額についても補助金を私の方で受けながら、できたあかつきには支払いたいと思っております。金額が一事業につき最高額200万円となっております。

(佐久間委員長)

仙北市内の神社仏閣のほかの何か資料はございませんか。

(畠山次長兼教育総務課長)

皆さんにお渡ししております「仙北市の教育」の後ろの方に、国、県、市の文化財一覧表が載っております。

(佐久間委員)

養老2年(718年)の建立、今年2014年で1,300年前になりますね。実は小淵野の日月神社で、1,300年祭をやる予定です。だいたい同じような時代にできているので、神社が合祀する前の大部落には、このようなのがあったのではないのでしょうか。神代、西明寺なり、旧村にこのような古い神社あるのではないかと思います。各地域で調べておいた方が良いのではないかと思います。

(小松文化財課長)

代表の宮司さんということだと思います。氏子さんの話の部分でも、今回の場合、宮司さんと話が通じています。

(佐久間委員)

そうであれば良いと思います。

(安部委員長)

佐久間委員が心配しているのは、このように申請のあったものについては、教育委員会で審議するけれども、ほかにまだこのようなケースがあるかもしれないのでリストアップしておいた方が良いのではないかとということだと思います。

(佐久間委員)

そういうことともう一つ、神社というものは、宗教法人で地域の責任役員がいて、そして氏子会の代表がいます。その方々が総会を開いて宮司さん等を決めたりしています。そのような人達の許可もいただいおかなければいけません。一方的に宮司さんだけのお話だけでは、やはり地域で運営していますので、地域の人達を抜かしてしまったとなれば、後から色々なことが出てくるケースもありますので。

(安部委員長)

今回は、その点については心配がないですね。

(小松文化財課長)

はい。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

(河原田委員)

指定されれば、一事業補助金200万円が必ずもらえるということですか。この資料を見るとかなり破損しているということは、それ以上にかかり増しした場合は自分で持ち出しと

ということですか。

(小松文化財課長)

ただ屋根の修繕の見積もりをもらいましたが、あまり大きい額ではありませんでした。

(熊谷教育長)

氏子さんが何回も教育委員会にきています。委員の皆さんにも後で見学する機会を設けた  
いと思いますし、成田宮司も委員の皆さんに見てもらいたいと思います。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、議案第31号を採決いたしますが、本案について可決すること  
にご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

議案第31号は、提案のとおり可決することに決定いたしました。

次は、報告事項に入ります。報告第41号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求  
めます。

(羽川部長)

明日28日、第7回仙北市議会定例会が開催されますので、10月17日臨時会後からこ  
れまでの主な事項について報告したいと思います。

(羽川教育部長が、以下の教育行政報告(案)について、資料に基づき説明する。)

◇文部科学大臣表彰「学校保健の部」受賞について

◇仙北市教育研究大会について

◇中学校生徒の活躍について

◇仙北市文化祭について

◇文化講演会について

◇2015 FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会について

◇スポーツ活動状況について

◇仙北市史跡めぐりに関して

◇館蔵品展1について

◇児童生徒県南美術展について

◇第29回国民文化祭・あきた2014について

(安部委員長)

報告が終わりました。何かご質問はございませんか。

(坂本委員)

質問ではないのですが、ECCの全国大会のことを触れていただいてありがとうございます。  
補足をさせていただきますが、角中の2年生戸澤彩さんで、私のECCジュニア角館教

室に来てくれています。8月に、ECCジュニアに通う中学生の暗唱の県大会がありまして、最優秀賞をいただきました。全国大会にチャレンジしたい人は、そこから録音したテープを送り、2次審査があります。それとは別に、一般の生徒も全国大会を目指してテープを送ります。全部で1,000人を超える応募者があったと聞いています。1,000人以上の中から50人選ばれて、大阪で発表いたしました見事、グランプリを獲得いたしました。学校の代表としても暗唱大会に出ておりまして、大曲仙北、県大会、東北大会と3回出ました。ECCの大会で、県大会、全国大会と5回出ている訳ですが、その内4回トップバッターです。本当に何か持っている子だなと、私も大変感動しております。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第41号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第41号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

次に、報告第42号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(田口スポーツ振興課長)

報告第42号三浦雄一郎・猪谷千春講演会補助金交付要綱制定について説明いたします。これは、秋田県と仙北市が協力して、実行委員会に補助金を交付しまして、講演会を秋田市と仙北市で実施する内容です。実行委員会事務局を、スポーツセンターに置くことになっています。県とスキー連盟とリフト会社を中心となって組織しまして、仙北市もそれを応援するという内容でございます。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

(佐久間委員)

いつ頃実施されますか。

(田口スポーツ振興課長)

2月16日の予定でございます。市内の中学生、1、2年生にも聞いていただきたいと思いますので、学校の方にもお願いをしております。

(安部委員長)

補助金はどれくらいですか。

(田口スポーツ振興課長)

今回の補正予算でお願いしていますが、50万円です。

(羽川部長)

12月議会に上がっております。

(安部委員長)

ほかにご質問はございませんか。



—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第42号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第42号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

次に、報告第43号を議題とします。提案の理由と内容の説明を求めます。

(浦山北浦教育文化研究所長)

報告第43号「全国学力・学習状況調査」結果取扱要綱の一部を改正する要綱制定について説明いたします。この要綱は北浦教育文化研究所の前の教育研究室が立ち上がった際に制定された要綱でございます。まだ表記が当時の教育研究室のままになっている点です。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

—質問なし—

(安部委員長)

質問がないようですので、報告第43号について承認することにご異議ございませんか。

—異議なし—

(安部委員長)

報告第43号は提案のとおり承認することに決定いたしました。

次に、(3)仙北市教育委員会委員長の選挙について議題とします。提案の理由と内容の説明をお願いします。

(畠山教育次長兼教育総務課長)

委員長の任期は1年です。この11月30日で任期が切れますので新たに委員長を選任していただきたいと思います。

—資料説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。選挙の仕方について、皆さんにお図りをしたいと思います。

(佐久間委員)

指名推選をお願いします。

(安部委員長)

指名推選という発言がありましたが、いかがでしょうか。

—異議なし—

(安部委員長)

それでは指名推選をお願いいたします。

(佐久間委員)

ご難儀をおかけしますが、再任をお願いいたします。皆さんご賛同をお願いいたします。

—異議なし—

(安部委員長)

皆さん、もう一年よろしくお願ひいたします。

次に（４）仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について議題とします。提案の理由と内容の説明をお願いします。

（畠山教育次長兼教育総務課長）

安部委員長の任期は、平成２６年１２月１日から平成２７年１１月３０日ですのでよろしくお願ひいたします。次に委員長職務代理者の指定についてです。現在、河原田委員に職務代理者をやっけていただけておりますが、任期が１１月３０日までです。どなたがなるか別の話にして、河原田委員は、教育委員としての任期が１２月４日までです。明日の市議会で再任ということで、人事案件の議案がありますので、明日になればわかりますが、河原田委員が職務代理者に指名されますと１２月４日までの任期となります。議会で再任になりますと、辞令交付の後に職務代理者の任期をまた皆さんに指定してもらうこととなります。

（佐久間委員）

そのことで、又委員会を開かなければなりませんか。

（畠山教育次長兼教育総務課長）

はいそうです。

（安部委員長）

職務代理者の指定についても指名推選でよろしいでしょうか。

—異議なし—

（佐久間委員）

河原田委員にご難儀をお掛けしますがお願ひいたします。

—異議なし—

（安部委員長）

河原田委員ということで決定いたしました。

それでは、次にいじめ、不登校対策についてお願ひいたします。

（浦山北浦教育文化研究所長）

１０月のいじめ、不登校の状況について、ご報告いたします。

はじめに、いじめについてです。１０月は、小学校から新規１件、継続１件、計２件の報告がありました。今後も、学校と連絡を密にし、事案の改善と未然防止に努めて参ります。

次に、不登校の状況です。こちらは、９月に引き続き小学生２名、中学生８名、計１０名の報告がありました。今後とも、学校や家庭、関係機関と連携しながら、未然防止と組織的な対応に努めて参ります。以上、報告いたします。

（安部委員長）

ただ今、いじめ・不登校について説明がありましたが、何かご質問はございませんか。

—質問なし—

（安部委員長）

引き続きよろしくお願ひいたします。

それでは、会議録のホームページへの掲載内容についてお願ひします。

（畠山次長兼教育総務課長）

資料をご覧ください。今回は９月定例会会議録のホームページ掲載案でございます。

—資料説明—

資料をご覧いただきまして、12月5日（金）までお気づきの点は、教育総務課までお知らせください。

来月の定例会は、国民文化祭実行委員会の関係で、12月25日（木）午後1時からこの場所をお願いしたいと思います。その後、皆さんにもご連絡がいつているかと思いますが、わらび座の方で国民文化祭の懇談会を開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

(安部委員長)

ほかにありませんか。

(浦山教育文化研究所長)

先ほどご承認いただきました、「全国学力・学習状況調査」結果取扱要綱に基づきまして公開したいと思います。本日委員の皆様の方にあります報告書ですが、来週公開する予定の内容になっております。もしお気づきの点がありましたら、来週の月曜日くらいまで教えて頂ければ幸いと存じます。なお公開方法といたしましては、市のホームページにアップする予定でございます。

(安部委員長)

はい、わかりました。

(坂本委員)

桧木内公民館を定期的にご利用させていただいておりますが、ストーブが新しくなりました。大変暖かく、安全なのを用意していただきましてありがとうございます。もう一点、毎年私言っていることなのですが、是非吹奏楽をもっともっと市民に聞かせる機会を作ってほしいなと思います。11月8日、角館中学校の定期演奏会がドンパルで、夕方から生保内中学校の発表会が市民会館であり、両方はすごいたしました。大変両方とも素晴らしかったです。音楽に触れる機会を、もっともっと市民に知らせてほしいと思います。角中の定期演奏会に、ゲストとして出ている小学校のマーチングバンドも本当に素晴らしく、さすが東北大会にいくだけの力だなと思いました。市内には、マーチングに取り組む学校がいくつかあります。なんとかマーチングをもっと見て頂ける機会を、いずれは実現できないかと思ってここで提案させていただきました。

(安部委員長)

ただ今の坂本委員の件については、記憶にきちんと止めておいて、生かせるように事務局で工夫していただきたいと思います。

(熊谷教育長)

関係団体に広めていきたいと思います。

(安部委員長)

当初予算はいつ頃ですか。

(畠山次長兼教育総務課長)

当初予算に関しましては、12月5日までが要求の入力の締め切りです。来月の定例会の時に、教育委員会の当初予算の案の提案をしたいと思います。

(安部委員長)

去年は、委員の方々から直接的に実現してほしい政策、希望があったらということで会を

開いていただいたのですが。期限が迫っておりますので、畠山次長に窓口になっていただいて、今の坂本委員の意見も含めて提案をしていただいて検討してもらいたいと思いますがよろしいでしょうか。よろしく申し上げます。

ほかにありませんか。

(河原田委員)

4年間どうもありがとうございました。始めは、教育委員会というのは、学校のことばかりしているものだと思っていましたが、している仕事が広くてびっくりしました。この4年間で、いづらか成長させていただいたかなと思っています。果たして私は、仙北市の力になったのか、何の力にもなっていないのではと思っています。逆に教育委員になったお陰で、役得で色々やらせてもらってうれしく思っていました。来た当初は、仙北市という頭がなくて、角館から来たとき角館の言葉が先に出ました。この4年間で矯正してもらったお陰で、仙北市のお陰でと最初に仙北市という言葉が出るようになりました。今後ともよろしく願いいたします。

(安部委員長)

私もまた新たに、委員長という職を努めさせていただくことになりました。河原田委員のお話にもありましたが、何の力になれているのかなという思いはあります。自分で思っていること、信じていることを、きちんと伝えて応援し、頑張ってもらおう係かなと思っています。この後もよろしく願いいたします。

長い間ありがとうございました。それではこれで定例会を閉会いたします。

7 閉会宣言 平成26年11月27日 午後3時20分